

平成 30 年度 外務省高校講座

1 目的

(1) グローバル・ビジネスとそれを取りまく海外事情について専門家にお聞きし、生徒が現在行っている課題研究の素材とする。

(2) 講義聴講後に質疑応答を行うことで、生徒の批判的思考力・コミュニケーション能力を高める。

(3) 異文化で振る舞い方や海外体験をお聞きし、海外フィールドワークの事前研修とする。

2 日時

平成 30 年 7 月 2 日 (月) 16:10-17:00

3 会場

本校 4 階多目的室

4 講師

外務省 大臣官房 外交史料館 中野洋美 氏

5 対象生徒

2 年生 SGH 国際コース選択者 26 名

6 生徒感想

・他のグループにも含めて様々な質問に対してあらゆる視点からの答を返して下さいました。いろいろな経験をし、思考してきた中野さんは、その場数の分だけ知っているのだなと感じ、当たり前ながら感動しました。私も夏休みは海外に行って研修してきますが、何事も積極的に行かなければ損だという中野さんの言葉で少し勇気づけられました。ありがとうございました。

・日本外交の前線で活躍している人のリアルな話が聴いてとても興味深かった。外務省自体に以前から興味を持っていたので、自分の知見を深めると共に、SGH活動の参考になるいい機会となった。

・海外に行ったことがない自分でも、海外というものがどのようなものであるか、また自分たちのSGHの質問に対しても幅広い視点から考察していただいて、とても参考になり

ました。本も良かった。

・外務省の仕事について学ぶことができ、海外での安全の取り方について非常によく知ることができたので、良かったです。具体的にテロや銃撃から逃げ方、海外で殿用に已を守るか等を知りました。今回のSGHでこのようなことを活かせるようにがんばります。将来のために役立つよう勉強していきます。

・まず、外国に関係する事に係わる事の面白さを教えていただき、SGHに参加する新たな意義を見つけることができました。外務省の仕事は非常に大変だと思いましたが、それをやりがいとして仕事をされていて、格好いい仕事だとも思いました。また、私達の海外事情に関する質問に丁寧に答えいていただき、SGHの学習をさらに深化させることができました。

・海外の公共交通事情について質問に答えて下さった。今までよく知らなかった外務省の役割を知るきっかけになった。

・外務省は自分たちとは全然関わりのないほど大きなスケールでお仕事されているところだと思っていましたが、お話を伺う中で自分たちの生活に関わりが意外とあることが分かり、遠い存在だった外務省が少し身近に感じることができました。

・先生に質問をさせていただくなかで、外国や地域毎の違いや日本で生まれ育った自分の当たり前がどこでも当たり前ではい事を先生の実体験を通して理解することができました。また、語学の大切さも分かり、今の自分の少ない語学力でも自分の意見を発信していくべきだという事も感じられて海外研修の前の励みになりました。とても広く深い世界がしれてお話が聞けて本当に良かったです。ありがとうございました。

・先生の海外での経験や先生が感じる海外の雰囲気のお話は、海外にほとんど触れたことのない私にとってはとても驚きでした。私達が質問についても、そこから派生することを答えて下さり、盲点をつめられたので、とても良かったです。今回は本当にありがとうございました。

・具体的に外務省について詳しく教えていただき、対外関係に対する関心がより深まった。また短い時間の中で中野さんには多くの質問に答えていただいて、自分たちのビジネスのアイデアヒントになることがたくさんあった。特に教育に関するお話で、国語の勉強が大事だとか、コミュニケーション力やプレゼンテーションの能力が日本人は他国より劣っているということを知ることができたので、今後の自分たちの研究に行かそうと思う。そ

して最後に海外に行くことの素晴らしさや熱いメッセージを聴いて奮起させられた。この体験を生かして、海外研修を実りある物にしたいと思う。

7 写真



外務省の中野先生



質疑応答



生徒代表お礼のことば